



今月の援農状況

- 新しい会員として 2 軒の農家さんに参加いただきました。花卉栽培の方と初めての市外からの農家さんです。よろしく お願いします。
- ・ 晩秋の風物詩ともいえますでしょうか「玉葱の定植作業」がありました。
- ・ 冬を 控えての 草取り作業の依頼も 継続していただいています。
- ・ 先月 10 月の援農時間は 700 時間。年間累計値は 8000 時間強。

いちちょう祭り



恒例のいちちょう祭りが 11/19(土) 20(日)の両日開催され わくわく広場に今年も参加しました。初日は 雨模様でしたが 二日目は 天気晴朗。例年どおり 焼き芋・大学芋・農家会員さんの農産物を 販売しました。前日準備・販売・焼き芋づくりなどには 延べ 26 人の会員さんに携わっていただきました。ありがとうございました。

援農体験記 農家での一年 田村 紫

小比企の鈴木農園での援農も、はや一年半になろうとしています。この間にいろいろな作業をさせていただきました。私にとってはどれも貴重な経験でした。その一つにハウスのトマトがあります。冬に種を蒔き、育てた苗をハウス内に植え付けます。芽かきをしたり、ひも掛けしたり、たえず手をかけ春から夏に収穫します。冬の寒風の頃でもハウスの中は常夏で、汗だくになります。

一年を通して、土を作り、種を蒔き、草をとり、育み、収穫し、出荷します。異常気象や台風等、農家のご苦労は絶えませんが、それ以上に得られるものは大きいのだなあ、と感じる毎日です。その素晴らしい仕事のお手伝いができることで私自身も癒され、喜びもかんじます。どうもありがとうございます。

チョッと耳にした情報・アドバイス

(1) 里芋栽培 — 親株の利用 —

5月の本会報紙で「里芋定植で親株を利用すること」にふれています。その結果報告—「大型のりっぱな物が収穫できました」。親株の越冬対策が一つの課題か。

(2) 「ねぎぼうず」

今年8月 小比企に開設された農産物直売所。出荷農家さんは60軒ほど。新鮮野菜が好評で客足も良好とのこと。

(3) 「菜の花プロジェクト」

景観対策・食用油・バイオ燃料・有機肥料などの面から着目される菜の花栽培。各地にプロジェクトが誕生とのこと。



富所農園・イベント 便り

窓口責任者 酒井 敏夫



写真の上部中央白い所が富所小屋で中に3人がテーブル囲んでいます。手前の大根葉が夕日でキラキラ輝く。

11月は下旬まで暖かく 秋野菜(キャベツ・小松菜・ピーマン・葱・ほうれん草・大根など)の成長が順調。夏野菜の残骸は共同草取りの日に焼却出来て すっきり。焚き火の周りで立ち話が盛ん。次回の焼却日には焼き芋もやろうと。雑草の勢い無くなり 来月は草取り日無し。冬将軍来る前に 白いトンネル作りあちこち始まる。

事務局からのお知らせ

人材—農家需要と市民意欲のマッチング

- (1) 畑は 早くも 冬模様
霜柱がもうすでに数回 みうけられました。陽の沈むのもめっきり早くなり ミレーの絵画:「収穫する人」の姿があちこちにみうけられます。大雪は12月7日。寒さ本番です。
- (2) 霜里農場見学会
11/12 エコメッセ八王子の主催による見学会に すずしろ22からも15名が参加。“有機農業にまちぐるみで取り組む様子”を 拝見してきました。
- (3) 農家会員さんへ
おかげさまで 援農時間は 増加傾向にあります。農作業のお役に立ちたいとする思いの市民会員は多く 必要時には 気軽に 事務局に声をかけて下さい。